

OpenAI の「日本の AI：経済ブループリント」に関する詳細分析 — 戦略、反響、およびその影響

Gemini

EXECUTIVE SUMMARY

2025 年 10 月 22 日、OpenAI は政策提言「日本の AI：OpenAI の経済ブループリント」を発表した。これは、日本の経済成長の原動力として人工知能（AI）を位置づけ、その潜在能力を最大限に引き出すための包括的な国家戦略を提示するものである。本ブループリントは、AI の導入により日本の GDP が最大 16%、金額にして 100 兆円超押し上げられる可能性があるという野心的な経済予測を掲げ、その実現に向けた「3 つの柱」—①包摂的な参加型社会基盤の構築、②戦略的インフラ投資、③全世代のポテンシャルを AI で開花させる教育—を提案している。この提言は、日本政府が推進する「世界で最も AI フレンドリーな国」という方針と深く共鳴しており、国内の政策・産業界からは概ね好意的に受け止められている。しかし、その壮大なビジョンとは裏腹に、特に知的財産権を巡る問題では深刻な対立が表面化しており、日本の文化的・経済的価値観とグローバルなテクノロジー企業の事業要件との間の緊張関係を浮き彫りにしている。本レポートは、このブループリントの内容を詳細に分析し、国内外の反応を整理するとともに、OpenAI のグローバル戦略におけるその位置づけと、日本が直面する機会と課題を多角的に考察する。

1. 序論：OpenAI による日本への戦略的アプローチ

1.1. ブループリントの位置づけ：「転換点」に立つ国家への「生きた提案書」

2025 年 10 月 22 日に発表された本ブループリントは、完成された計画ではなく、今後の進化を前提とした「生きた提案書」(a living document)として提示されている¹。この表現は、OpenAI が単なる技術提供者ではなく、日本の未来を共に構想するパートナーとしての立場を確立しようとする戦略的な意図を反映している。

本文書は、日本が明治維新や戦後の高度経済成長期になぞらえられる「歴史的な転換点」(historic inflection point)に立っていると指摘する²。この物語は、日本が再び世界のリーダーシップを発揮することへの期待感に訴えかけるよう設計されている。また、この提言は、2025 年 1 月に米国で発表されたものを皮切りとする、OpenAI の一連の国別政策提言の日本版であり、同社のグローバルな政策関与戦略の一環であることが明確に示されている⁴。

1.2. 中核的提案：100 兆円規模の経済効果

ブループリントが提示する最も強力なメッセージは、AI が日本の経済に 100 兆円（約 6,591 億米ドル）以上の価値を付加し、GDP を最大 16%押し上げる可能性があるという経済予測である²。この具体的な数値は、AI 導入を単なる業務効率化の手段ではなく、国家経済を再興するための根源的な駆動力として位置づけるための強力な論拠となっている。

1.3. OpenAI の日本へのコミットメント深化：物理的拠点から政策提言まで

このブループリントは、OpenAI が日本との関係を深化させてきたプロセスの集大成と見なすことができる。同社は 2024 年 4 月、アジア初の拠点となる東京オフィスを開設し、日本市場の戦略的重要性を明確に示した¹⁰。日本法人の代表には、アマゾン ウェブ サービス (AWS) ジャパンの前社長である長崎忠雄氏が就任。これは、日本の複雑な企業文化や政府機関との関係構築、そしてエンタープライズ市場への浸透を重視する姿勢の表れである¹⁰。

この動きに先立ち、2023 年 4 月には CEO のサム・アルトマン氏が来日し、岸田文雄首相（当時）と会談。その場で日本への拠点設置の可能性が議論されるなど、ハイレベルでの関係構築が進められてきた¹¹。さらに、日本語の翻訳・要約性能を従来比で最大 3 倍高速化し、コスト効率も改善した日本語特化のカスタム GPT-4 モデルを開発するなど、ローカライゼーションへの投資も行っている¹²。

1.4. 分析と考察：戦略的ディプロマシーとしてのブループリント

このブループリントは、単なる政策提言を超えた、高度な戦略的コミュニケーションのツールとして機能している。**OpenAI** は、自社の技術とビジネスモデルにとって有利な市場環境を創出するため、日本の国家目標と自社の利益を巧みに一致させる政策ビジョンを提示している。**AI** モデルの運用には、膨大な計算資源、大規模な学習データ、そして柔軟な規制環境が不可欠である。一方、日本政府はかねてより「世界で最も **AI** フレンドリーな国」を目指す方針を掲げてきた¹⁶。**OpenAI** はこの状況を捉え、規制に対応するのではなく、インフラ投資や「柔軟な」知的財産環境の維持といった、自社に有利な要素を盛り込んだ「**AI** フレンドリーな国」の青写真を主体的に提供した。これにより、**OpenAI** は日本政府の「思考のパートナー」としての地位を確立し、自らが共同で作り上げたビジョンに反するような規制が導入されにくい状況を生み出している。

さらに、この動きは地政学的な文脈においても重要な意味を持つ。米国版ブループリントが **AI** 開発競争を「独裁主義国家」との対立軸で描いているように⁶、**OpenAI** の戦略は米国の国家戦略と軌を一にしている。日本は米国の重要な同盟国であり、中国の技術的台頭に対して共通の懸念を抱いている¹⁸。**OpenAI** が日本との深いパートナーシップを構築することは、インフラ、人材、そして「広島 **AI** プロセス」に代表されるガバナンス規範に至るまで、民主主義的価値観に沿った **AI** エコシステムを強化することに繋がる。これは、**OpenAI** の商業的利益（安定したハイテク市場の確保）と、米国の広範な戦略的利益（中国の **AI** モデルに対する技術的・規範的な対抗軸の構築）の両方に資するものである。

2. ブループリントの解剖：日本の **AI** 駆動型未来を支える「3 つの柱」

ブループリントは、日本の **AI** 戦略の核として以下の 3 つの柱を提言している¹⁹。

2.1. 第 1 の柱：**AI** の恩恵を誰もが享受できる、包摂的な参加型社会基盤の構築

この柱の核心は、AI がもたらす経済的利益が一部に集中することなく、社会全体に公平に分配されるための政策フレームワークを構築することにある¹⁹。そのための具体的な提案として、ブループリントは日本の「柔軟な知的財産環境」を高く評価し、これを維持・発展させることが世界の優れた人材や企業を惹きつける強みになると強調している¹⁹。これは、大規模なデータセットでモデルを学習させる OpenAI のビジネスモデルにとって極めて重要な点である。さらに、国内外の企業や大学とのオープンなパートナーシップを促進し、技術と人材が国境を越えて連携するエコシステムの構築を求めている²⁰。

2.2. 第2の柱：戦略的インフラ投資

AI 経済の物理的・デジタル的基盤、すなわち計算資源とエネルギーへの長期的かつ大規模な投資を国家プロジェクトとして位置づけることを提言している¹。ここで中心的な概念となるのが「ワットとビットの連携」である¹。これは、AI の心臓部であるデータセンター（ビット）と、その稼働に不可欠なグリーンエネルギー供給網（ワット）を一体的かつ同時に開発すべきだという考え方である。このインフラ整備を経済安全保障上の「国家事業」と位置づけ、政府の「GX2040 ビジョン」といった既存の国家方針と連動させることを提案している¹。また、これらの施設を都市部以外に配置することで、地方創生にも貢献できるとしている¹⁹。

2.3. 第3の柱：全世代のポテンシャルを AI で開花させる教育

AI 時代における日本の最も重要な資産は「人」とし、人的資本への抜本的な投資強化を求めている¹⁹。ここでの重要なパラダイムシフトは、AI を知識の暗記ツールとしてではなく、批判的思考力や創造性を育むための「思考のパートナー」として活用することである¹⁹。これにより、AI に代替されにくい問題発見・解決能力を育成することを目指す。具体的な施策として、小・中・高校の段階からの AI リテラシー教育の導入や、官民一体となった大規模なリスキリング支援を挙げる。後者では、個々のキャリアプランに合わせて学習コンテンツを提案する「AI チューター」の活用も想定されている²⁰。日本の ChatGPT ユーザーの4人中3人以上が25歳未満であるというデータは、若い世代が既に AI を自然なツールとして受け入れていることを示唆している¹。

2.4. 分析と考察：市場形成と物語の構築

「ワットとビット」への重点的な言及は、単なる技術的推奨ではない。これは、AI サプライチェーン全体への莫大な官民投資を促すための、計算され尽くした「需要シグナル」である。フロンティア AI モデルは膨大な電力と計算能力を消費するため、これが成長の最大のボトルネックとなっている。ブループリントがインフラ整備を「国家事業」として位置づけるよう促すことで、政府の補助金や規制緩和、大企業による投資が期待される。OpenAI の筆頭投資家であるマイクロソフトは、クラウドコンピューティングとデータセンター事業の巨人であり、既に日本における AI インフラ強化のために 29 億米ドルの投資を表明している¹⁴。したがって、この提言は、OpenAI とその主要パートナーが大規模に事業を展開するために必要な市場環境そのものを創出するための、極めて効果的な事業開発ツールとして機能している。

同様に、「思考のパートナー」という物語は、AI に対する社会的な不安、特に大規模な失業への懸念を和らげるための予防的な防衛策である。AI を人間の能力を「拡張」し、「創造性を解き放つ」存在として描くことで、「人間 対 機械」という対立構造を「人間 と 機械」という協調の物語へと転換させる。これは、AGI（汎用人工知能）の開発を使命とする企業が、その技術の社会実装を円滑に進める上で不可欠な広報戦略であり、政策提言の中に巧みに埋め込まれている。

3. 国内の反応と整合性：日本の政策・産業界との対話

3.1. 政府・政策とのシナジー：準備された受容環境

ブループリントの提言内容は、日本政府が既に進めている AI 政策の方向性と高い整合性を持っている。政府は「世界で最も AI フレンドリーな国」になるという目標を掲げ¹⁶、2025 年 5 月には厳格な規制よりもイノベーション促進を優先する「AI 推進法」を成立させている¹⁷。この「ソフトロー」を重視するアプローチは、OpenAI が望む環境そのものである。

また、日本が G7 議長国として主導した「広島 AI プロセス」は、「安全・安心で信頼できる AI」の実現を目指す国際的なガバナンスの枠組みであり¹⁴、OpenAI にとって自社の取り組みをこの国際的潮流に合致させる絶好の機会を提供している²⁷。政府内に設置された「AI 戦略会議」も 2023 年から活発に議論を重ねており、OpenAI のような外部からの提言を受け入れる土壌が整っていた²⁸。

3.2. 産業界の視点：慎重な楽観論と先行導入

経団連などの主要な経済団体は、生成 AI をテーマとしたフォーラムを積極的に開催し、DX（デジタルトランスフォーメーション）やリスクリングにおける AI の役割について議論を深めている³⁴。これは、産業界が AI 活用に対して前向きな姿勢であることを示している。

実際に、ダイキン工業、楽天グループ、トヨタ自動車の子会社であるウーブン・バイ・トヨタ（旧・TRI-AD）といった日本を代表する企業が、既に業務プロセスの自動化やデータ分析のために ChatGPT Enterprise を導入している¹²。また、横須賀市のような地方自治体も、行政サービスの効率化に同技術を活用し、職員の 8 割が生産性向上を報告するなど、具体的な成果も出始めている¹⁴。ブループリントは、こうした先行事例を基に、製造業（品質検査）、医療・介護（事務負担軽減）、金融（リスク検知）、行政サービス（政策文書作成）など、日本の基幹産業全般にわたる変革の可能性を示している¹。

3.3. 対立点と批判的評価：ビジョンと現実の乖離

3.3.1. 知的財産権を巡る深刻な対立

ブループリントが描く楽観的な未来像に対する最も深刻な課題は、知的財産権、特に著作権を巡る問題である。動画生成 AI「Sora 2」などが、日本の「かけがえのない宝」と称されるアニメや漫画のキャラクターを無断で使用してコンテンツを生成した事例が相次ぎ、クリエイターや権利者から強い反発を招いている³⁵。

これに対し、日本政府は OpenAI に著作権侵害にあたる行為をしないよう公式に要請し、AI の学習データ利用に関して、権利者が拒否を申し出る「オプトアウト方式」ではなく、事前に許諾を得る「オプトイン方式」への転換を求めている³⁵。この問題は、ブループリントが称賛した日本の「柔軟な」知財環境が、実際には AI 開発企業の利益とクリエイターの権利との間で深刻な対立を生んでいる現実を露呈している³⁶。

3.3.2. 中小企業における導入の壁

ブループリントが描く「町工場ルネサンス」のようなビジョンが、日本経済の根幹を支える中小企業（SME）のレベルで実現可能かについては、懐疑的な見方も存在する³⁹。多くの中小企業は、高度な AI ソリューションを導入するためのデジタルリテラシー、資金、人材が不足しており、ビジョンと現場の現実との間には大きな隔たりがある。

3.3.3. 資源制約とシステム的リスク

- **エネルギー問題**：データセンターの稼働に伴う膨大な電力需要は、日本のエネルギー供給網と環境目標にとって大きな負担となる可能性がある³⁹。
- **人材育成**：ブループリントは教育の重要性を強調するが、十分なスキルを持つ AI 人材を大規模に育成するには長い時間を要する。
- **透明性とバイアス**：AI モデルの意思決定プロセスの不透明性や、学習データに起因するバイアスの問題は依然として残っており、これらが適切に管理されなければ社会的な抵抗を招くリスクがある⁴⁰。

3.4. 分析と考察：グローバルテクノロジーとローカル文化の衝突

アニメや漫画の著作権を巡る争いは、単なる法的な論争ではない。これは、AI 時代における文化的な生産物の管理権と、そこから生まれる利益の分配を巡る、文化・経済の代理戦争である。日本の重要なソフトパワーであり経済的価値の源泉である文化資産が、その創造主に十分な対価を支払うことなく AI モデルの学習に利用されている。この対立は、「AI は人間の創造性を拡張するツールなのか、それとも人類の集合的な文化遺産の価値を収奪し私有化するシステムなのか」という根源的な問いを突きつけている。この問題に対する日本の対応は、世界的な先例となる可能性がある。

同時にこの対立は、日本が志向する「アジャイル・ガバナンス」という規制アプローチの試金石でもある。日本はこれまで、イノベーションを阻害しないよう、EU のような厳格な法規制を避け、「ソフトロー」による柔軟な対応を基本方針としてきた¹⁶。しかし、知財問題のように、グローバルな巨大テック企業と国家の基幹産業・文化との間で直接的な利益相反が生じた場合、自主的なガイドラインだけでは対応が困難になる可能性がある。もし「ソフトロー」が日本のクリエイターを保護できないと判断されれば、政府はより強固で拘束力のある規制の導

入を迫られるかもしれない、それは「世界で最も AI フレンドリーな国」という目標そのものを揺るがしかねない。

4. 国際的文脈と比較分析

4.1. 海外メディアおよびアナリストの反応

海外の報道は、主に 100 兆円（6,591 億米ドル）という経済効果の数字に焦点を当て、ブループリントを OpenAI による日本市場への重要なコミットメントとして報じている⁷。この発表は、ロンドンとダブリンに続く OpenAI のグローバル展開の一環と見なされている¹²。シンクタンクなどの分析では、日本のイノベーションを優先する姿勢が、リスクベースの規制を重視する EU のアプローチとしばしば対比されている¹⁶。

4.2. 比較フレームワーク：OpenAI のグローバル政策戦略

日本のブループリントは、米国および韓国で発表されたものと比較することで、その戦略的意図がより明確になる。OpenAI は、各国の優先課題や強みに合わせて、そのメッセージを巧みに調整している。

特徴	米国ブループリント (2025 年 1 月)	韓国ブループリント (2025 年 10 月)	日本ブループリント (2025 年 10 月)
主要目標・位置づけ	グローバルなリーダーシップの維持、独裁主義国家との国家安全保障上の競争 ⁶	世界トップ 3 の AI 大国化、主権的 AI 能力 (Sovereign AI) の確立 ⁴⁴	経済再生、「人間中心の AI」のグローバルモデル構築 ²
評価される国の強	起業家精神に富むエ	世界トップクラスの	柔軟な知財環境、高

み	コシステム、個人の自由、既存の技術的リーダーシップ ⁶	半導体製造能力、高密度のデジタルインフラ、高度な教育を受けた人材 ⁴⁴	い社会的信頼、精密製造技術、倫理的リーダーシップのポテンシャル ²
中核的戦略アプローチ	自由市場の原則と、州ごとではなく全国統一の「常識的なルール」による経済機会の最大化 ⁶	「デュアルトラック戦略」：主権的能力の構築と、フロンティア企業との戦略的提携の両立 ⁴⁴	「3つの柱」戦略：包摂的社会、インフラ（ワットとビット）、教育 ¹⁹
政府に期待される役割	産業界の障害を取り除くこと、中国主導のプロジェクトから世界の投資資金を引きつけること ⁶	国家的なチャンピオンとしての役割、官民連携の推進（例：スターゲイト計画） ⁴⁴	インフラ整備という国家プロジェクトの推進、教育改革、国際的なガバナンスの主導（広島 AI プロセス） ²⁰

4.3. 分析と考察：AI 覇権に向けたグローバル戦略

この比較から明らかになるのは、OpenAI の普遍的な目標—すなわち、AGI の開発と展開に必要な資源（データ、計算能力、資本、人材）と規制上の自由を確保すること—を、各国の経済的課題や国家的願望に合わせた物語に仕立て上げている点である。米国には地政学的競争という文脈で、韓国には産業的プライドという文脈で、そして日本には経済再生という文脈でアプローチしている。OpenAI が各国に求める「投資の拡大」と「有利な規制」という中核的な要求は同じだが、そのパッケージングが国ごとに最適化されているのである。

5. 戦略的含意と将来への提言

5.1. 日本のステークホルダー（政府・産業界）にとって

- **機会**：ブループリントは、日本の AI 戦略を加速させるための、外部から検証された信頼性の高いロードマップを提供する。OpenAI との戦略的パートナーシップは、最先端モデルへのアクセスやグローバルなベストプラクティスを学ぶ上で大きな利点となり得る。
- **リスクと提言**：
 - 「技術的従属」の回避：単一の海外プロバイダーへの過度な依存が国内のイノベーションを阻害しないよう、韓国の「デュアルトラック戦略」を参考に、パートナーシップと並行して独自の AI 能力（Sovereign AI）を構築する努力を怠ってはならない。
 - **知財問題の解決**：政府と産業界は、AI 学習におけるクリエイティブな IP の利用に関するライセンス供与と対価還元のための、明確で実効性のある枠組みを早急に確立する必要がある。これを怠れば、AI 導入の障害となり、日本の重要な文化・経済セクターに損害を与える可能性がある。
 - **現実的な実装への注力**：政策の焦点を、中小企業が直面する現実的な課題の解決に合わせるべきである。具体的な補助金、研修プログラム、簡易な AI ツールの提供などを通じて、ビジョンと現場のギャップを埋める必要がある。

5.2. OpenAI にとって

- **機会**：日本は、安定的で価値が高く、戦略的にも協調しやすい市場である。アジア太平洋地域におけるハブとして、また「責任ある AI」展開のモデルケースとして、極めて重要な位置を占める。
- **リスクと提言**：
 - **文化的な機微への配慮**：知財問題が示すように、画一的なデータ収集アプローチは通用しない。OpenAI は、解決策を一方向的に提示するのではなく、日本のクリエイターコミュニティと共同で解決策を模索することにより、日本の文化資産に対する真の敬意を示す必要がある。
 - **ブループリントの先へ**：提言の信頼性を維持するためには、中小企業の AI 導入支援や人材育成といった、批判的に指摘されている課題に対処するための具体的な投資やパートナーシップを迅速に実行に移すべきである。

結論：日本の AI の未来—協調の青写真か、対立のビジョンか

OpenAI の「日本の AI：経済ブループリント」は、日本の国家目標と巧みに連携した、AI によ

る繁栄という魅力的なビジョンを提示する、見事な戦略的コミュニケーション文書である。政策・産業界からの評価は概ね肯定的であり、日本の AI 戦略を前進させる触媒となる可能性を秘めている。しかし、その成功は、AI の技術的要請と、知的財産権に象徴される日本の文化的・経済的価値観との間に存在する、根深く未解決の対立をいかに乗り越えるかにかかっている。今後の展開は、このブループリントが真のパートナーシップの礎となるのか、それともフロンティア AI のグローバルな展開に伴う本質的な緊張関係を浮き彫りにする、野心的だが最終的には異議を唱えられるビジョンに留まるのかを決定づけるだろう。

引用文献

1. 日本の AI : OpenAI の経済ブループリント, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://cdn.openai.com/global-affairs/f9d1cd88-506e-48f9-b34b-6ff63655434e/openai-japan-economic-blueprint-jp.pdf>
2. AI in Japan—OpenAI's Japan Economic Blueprint, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://openai.com/index/japan-economic-blueprint/>
3. OpenAI “経済成長と包摂的な繁栄を目指す「日本の AI : Open AI の経済ブループリント」” から見る日本戦略 - note, 10 月 23, 2025 にアクセス、
https://note.com/ai_bye_me/n/nee6493b2e423
4. OpenAI が AI 政策提言 Economic Blueprint を発表、米国の経済成長と AI の利点最大化を目指す新戦略 - xexeq.jp, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://xexeq.jp/blogs/media/topics33848>
5. AI は 100 兆円を超える価値を生み出す OpenAI が日本に政策提案 - Impress Watch, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/2056993.html>
6. OpenAI's Economic Blueprint | OpenAI, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://openai.com/global-affairs/openais-economic-blueprint/>
7. OpenAI study shows AI could add over \$659b to Japan's economy - Tech in Asia, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.techinasia.com/news/openai-study-shows-ai-could-add-over-659b-to-japans-economy>
8. OpenAI が示す「AI で日本経済 100 兆円成長」への道筋 包摂・インフラ・教育の 3 本柱を徹底解説, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://zenn.dev/headwaters/articles/83b6d1352368ec>
9. OpenAI、日本の AI 戦略を提言「AI は新たな経済成長の原動力」に - Aibrary, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://aibrary.media/openai-japan-blueprint/>
10. 日本法人「OpenAI Japan 合同会社」とは？東京オフィスの場所や採用ページ - MiraLab.inc, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://miralab.co.jp/media/openai-japan/>
11. OpenAI が日本を選んだ真意 会見で語った「東京拠点、立ち上げのワケ」 - ITmedia, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.itmedia.co.jp/aiplus/articles/2404/15/news158.html>
12. OpenAI expands into Japan: a strategic move into the Asian market - ContentGrip, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.contentgrip.com/openai->

- [expands-into-japan/](#)
13. OpenAI が日本法人「OpenAI Japan」を開設、代表は元 AWS の長崎氏 - 窓の杜, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1584419.html>
 14. OpenAI Expands Global Footprint with Tokyo Office and Japanese GPT-4 Model, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.maginate.com/article/openai-expands-to-japan-with-localized-gpt-4-model/>
 15. OpenAI Opens First Asia Office in Tokyo, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://tokyo.us/2024/04/29/openai-opens-first-asia-office-in-tokyo/>
 16. Japan's Agile AI Governance in Action: Fostering a Global Nexus Through Pluralistic Interoperability - CSIS, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.csis.org/analysis/japans-agile-ai-governance-action-fostering-global-nexus-through-pluralistic>
 17. Understanding Japan's AI Promotion Act: An "Innovation-First" Blueprint for AI Regulation, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://fpf.org/blog/understanding-japans-ai-promotion-act-an-innovation-first-blueprint-for-ai-regulation/>
 18. Why OpenAI Chose Tokyo for its First Indo-Pacific Branch, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.asiapacific.ca/publication/why-openai-chose-tokyo-its-first-indo-pacific-branch>
 19. OpenAI が描く“日本の AI 未来図”:100 兆円の経済創造へ | AICU - note, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://note.com/aicu/n/n7b60d5584745>
 20. OpenAI からの提言: 「日本の AI: Open AI の経済ブループリントが示す「100 兆円の未来」 - note, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://note.com/threeplussix/n/n7a2b7974044f>
 21. OpenAI、日本の経済成長と包摂的な繁栄を目指す「日本の AI: Open AI の経済ブループリント」を発表, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://openai.com/ja-JP/index/japan-economic-blueprint/>
 22. Expanding economic opportunity with AI | OpenAI, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://openai.com/index/expanding-economic-opportunity-with-ai/>
 23. Japan's emerging framework for responsible AI: legislation, guidelines and guidance, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.ibanet.org/japan-emerging-framework-ai-legislation-guidelines>
 24. Shaping Global AI Governance: Enhancements and Next Steps for the G7 Hiroshima AI Process - CSIS, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.csis.org/analysis/shaping-global-ai-governance-enhancements-and-next-steps-g7-hiroshima-ai-process>
 25. Documents of Achievement | Hiroshima AI Process, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.soumu.go.jp/hirosimaaiprocess/en/documents.html>
 26. The Hiroshima AI Process: Leading the Global Challenge to Shape Inclusive Governance for Generative AI - JapanGov, 10 月 23, 2025 にアクセス、
https://www.japan.go.jp/kizuna/2024/02/hirosima_ai_process.html
 27. OpenAI announces strategic collaboration with Japan's Digital Agency, 10 月 23,

- 2025 にアクセス、<https://openai.com/global-affairs/strategic-collaboration-with-japan-digital-agency/>
28. A I 戦略会議・A I 制度研究会合同会議-令和 6 年 8 月 2 日 | 政府広報オンライン, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://www.gov-online.go.jp/press_conferences/prime_minister/202408/video-286980.html
 29. 令和 6 年 8 月 2 日 A I 戦略会議・A I 制度研究会合同会議 | 総理の一日 | 首相官邸ホームページ, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202408/02ai.html
 30. A I 戦略会議-令和 5 年 5 月 11 日 | 政府広報オンライン, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.gov-online.go.jp/prg/prg26698.html>
 31. 生成 AI を活用したポジティブインパクトの分析 (2025 年 5 月 29 日 No.3684) | 週刊 経団連タイムス, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2025/0529_07.html
 32. 【経団連後援イベント】生成 AI 時代のリスキリング - Aidemy Business, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://business.aidemy.net/seminar/keidanren_event2/
 33. Action(活動) 週刊 経団連タイムス 2025 年 3 月 6 日 No.3764 責任あるデジタル技術の開発と利活用に向けてー企業行動憲章シンポジウムを開催ー一般社団法人日本経済団体連合会, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2025/0306_01.html
 34. OpenAI opens office in Japan amid heightened scrutiny from EU regulators - CoinGeek, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://coingeek.com/openai-opens-office-in-japan-amid-heightened-scrutiny-from-eu-regulators/>
 35. Japan asks OpenAI not to infringe on 'irreplaceable' manga and anime content - Engadget, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.engadget.com/ai/japan-asks-openai-not-to-infringe-on-irreplaceable-manga-and-anime-content-120008580.html>
 36. Japanese Government Calls on Sora 2 Maker OpenAI to Refrain From Copyright Infringement, Says Characters From Manga and Anime Are 'Irreplaceable Treasures' That Japan Boasts to the World - IGN, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.ign.com/articles/japanese-government-calls-on-sora-2-maker-openai-to-refrain-from-copyright-infringement-says-characters-from-manga-and-anime-are-irreplaceable-treasures-that-japan-boasts-to-the-world>
 37. Japan's government asks OpenAI to seek permission amid Sora 2 copyright concerns, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.japantimes.co.jp/business/2025/10/16/companies/japan-opt-in-model-sora2/>
 38. Japan wants OpenAI to stop copyright infringement and training on anime and manga because anime characters are 'irreplaceable treasures'. Thoughts? - Reddit, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://www.reddit.com/r/OpenAI/comments/lo7ljra/japan_wants_openai_to_stop_copyright_infringement/
 39. OpenAI の“日本経済ブループリント”を読む：本当にここまで明るい未来なの？

| Zun-Beho - note, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://note.com/akikito/n/n3302e4d4d257>

40. OpenAI の営利化が示唆する AGI の幕開けと課題——AGI ゴールドラッシュ時代の処方箋, 10 月 23, 2025 にアクセス、https://globis.jp/article/kvkq_hyremm/
41. AI 経済戦略で日本は復活できるか？OpenAI 提言の全貌と GDP16%押し上げの実現方法, 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://axconstdx.com/2025/10/22/ai%E7%B5%8C%E6%B8%88%E6%88%A6%E7%95%A5%E3%81%A7%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AF%E5%BE%A9%E6%B4%BB%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%82%8B%E3%81%8B%E5%BC%9F%E6%8F%90%E8%A8%80%E3%81%AE%E5%85%A8%E8%B2%8C%E3%81%A8gdp/>
42. New Government Policy Shows Japan Favors a Light Touch for AI Regulation - CSIS, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.csis.org/analysis/new-government-policy-shows-japan-favors-light-touch-ai-regulation>
43. Network architecture for global AI policy - Brookings Institution, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://www.brookings.edu/articles/network-architecture-for-global-ai-policy/>
44. AI in South Korea—OpenAI's Economic Blueprint | OpenAI, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://openai.com/index/south-korea-economic-blueprint/>
45. OpenAI Presents 'AI Economic Blueprint' for Korea: "A Hub for the Intelligence Age", 10 月 23, 2025 にアクセス、
<https://www.asiae.co.kr/en/article/2025102313005064619>
46. Samsung and SK join OpenAI's Stargate initiative to advance global AI infrastructure, 10 月 23, 2025 にアクセス、<https://openai.com/index/samsung-and-sk-join-stargate/>